

口にくわえたスティックで1文字ずつ打ってくださった

上村数洋先生からのメールです

お礼の連絡が大変遅くなり申し訳ありません。

仕事の関連を急ぎかたづけ、

今までに頂いた9件のレポートを拝見し、全てプリントアウトを終えたところ
です。

何と言えればいいのか、

拝見していて、自分の話し下手や能力の無さは自分が一番解っているだけに、
自然に胸が熱くなり目頭がかすみそうになってきました。

側で妻も、涙と鼻水を啜りながら拝見しています。

先生、本当に今回はとても良い機会を与えて頂き感謝です！

今、貯まりにたまっている病気からの不安、将来への不安、

仕事の出来ないストレス、

取り組みの必要性や思いを上手く伝えきれず後輩育てに対する反省や、

とにかくここに来て今更のように頸損という障害の負について直面し、

ぶっつぶれそうになっている中で、

こうして受講生の皆さんからのお声を頂け、自分の中ではふり返ったり意識す
ることで 気力が折れそうになるので

何も考えずに感謝と前に進むことだけ出来た35年が

皆さんのレポートの中で、逆に私自身にとっても大きな励ましを頂け、

これまで立ちはだかっていたもやのようなものが少しずつ取れ始め、

何かこの後の目的感のような

ものがみえはじめてきたように感じています・・・

この後、少し時間はかかりますが、一人一人皆さんにお礼のメールを書かせて

頂くつもりでありますが、機会がありましたら、先生の方より先に、

一言皆さんにお礼をお願い出来ましたら幸いです。

どうか宜しくお願い致します。

取り急ぎお礼まで

上村 数洋